

第 1 7 期 第 2 回 八尾市図書館協議会会議録

平成 2 2 年 1 0 月 1 4 日 (木) 午前 1 0 時 0 0 分 から 午後 1 2 時 0 0 分
青少年センター 2 階集会室

出席者 (敬称略)

井上 眞澄 (元京都橘大学文学部教授)
吉川 逸子 (大阪府立中央図書館協力振興課長)
戸部 久三 (大阪市立中央図書館企画情報課長)
西田 尚美 (八尾市議会議員)
森 弘和 (八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会)
新居 佐登子 (八尾市社会教育委員)
坂上 弘子 (八尾市歴史民俗資料館運営委員会委員)
森田 知香子 (おはなしばすけっと)
米澤 淳子 (くれよんの会)

職 員

中原 敏博 (八尾市教育委員会教育長)
植田 武彦 (生涯学習部長)
大谷 進 (八尾図書館長)
鶴田 博子 (山本図書館長)
青木 薫 (志紀図書館長)
米田 敏幸 (八尾図書館館長補佐)
南 昌則 (八尾図書館館長補佐)
筒 暁子 (八尾図書館利用サービス係長)
川西 勝 (八尾図書館資料係長)
松井 律子 (八尾図書館司書)
竹村 清 (山本図書館司書)
岡田 真理 (志紀図書館司書)

案 件 (報告事項)

八尾図書館の建替えについて

第 2 次図書館サービス計画素案について

その他

【開会】

鶴田館長

それでは、定刻となりましたので、只今より、第17期第2回八尾市図書館協議会を開催させていただきます。

本日は、ご多忙のところ、ご出席いただきまして、誠に有難うございます。
最初に協議会の資料を確認させていただきますのでお手元の資料をご覧ください。
まず第17期第2期図書館協議会次第であります。

次に資料1及び参考資料がA4で4枚。資料2がA3で2枚。

なお協議会に関します図書館法の抜粋を参考として添付しております。

本日も図書館の運営についてご意見をいただきますようよろしくお願いします。

和田委員と北田委員は、所用のため、本日欠席です。

それでは、開会にあたり、中原教育長よりご挨拶申し上げます。

中原教育長

本日はお忙しい中、八尾市図書館協議会に出席いただきましてありがとうございます。また、平素は図書館行政に関わりましてご協力いただいていることを重ねてお礼申し上げます。

さて、今月27日から読書週間が始まります。今年は、「気がつけばもう降りる駅」というのが標語になっておりました。なかなかいい標語で、こういうことがあったなあと思っているところです。

昭和22年に読書週間が始まりまして今年が64回目になりますが、当初文化国家を作ろうということが大きな目的だったようで、取組みを通して文化的な国家ができてきたわけですが、いつのまにか活字離れのような形になって、子供たちをどう読書活動させていくかということが課題になっています。

前回報告させていただきましたが市民の読書、読書機会の提供に努めるということで、第2次図書館サービス計画の策定、八尾図書館の建替え、それから八尾市民病院跡地における地域図書館の設置ということで市民の読書環境の充実に努力しているところです。その取組みにつきましては市民参画ということで市民の皆様のご意見や市民の皆様のニーズに合った図書館を目標としているところであり、図書館の整備計画につきましても、この図書館協議会のご検討、ご意見をはじめ様々なご意見を賜りまして、検討を進めているところです。これからも課題がでてくると思いますが、様々なご意見を賜りながら進めていきたいと思っております。本日は委員の皆様方には様々なご議論を賜りますこととなりますが、多様な観点からご意見、ご助言いただきたく思います。本日はよろしくお願いいたします。簡単ではございますが挨拶といたします。

井上会長

今回の図書館協議会の議題は非常に重要な案件を含んでおります。図書館の整備計画とサービス計画を中心とします案件でございます。事務局から提出されました議題に基づきまして委員の皆様方の忌憚のない論議をいただきますようお願いいたします。

それでは議題1の図書館の整備計画について事務局から説明をお願いします。

【八尾図書館の建替えについて】

南館長補佐

それでは資料1 図書館の整備計画についての資料をご覧ください

7月22日の第1回図書館協議会を開催しまして、その際には図書館を中心とした複合施設の機能

であったり、大まかなスケジュールについてご説明させていただきました。今日はそれ以降の取組みを含めまして現時点のご報告とご意見をいただきたいと思っております。

まず先だって7月30日になりますけれども庁舎周辺公共施設整備調査特別委員会が開催されまして、その際には教育センター跡地での商工振興支援センターの整備についての報告とともに図書館を中心とする施設に関します基本計画案、別紙参考資料に付けておりますけれども、それについてのご説明をさせていただきました。続きまして、仮称八尾図書館整備計画案と参考資料を合わせて見ていただけたらと思います。まず、新しく八尾図書館等を含めた施設の整備の位置につきましては、八尾市本町2丁目2番8号、旧の商工会議所、現在の八尾市立青少年センターの敷地を予定しており、敷地面積につきましては1210.56㎡を予定しております。計画の床面積の目標用途としましては約3,000㎡の延べ床の施設を考えております。

図書館を中心とする施設の基本的なコンセプトにつきましては5つの考え方を基本計画案の中でご説明をさせていただいております。1つは市民にとって必要な情報が集まる場、次に市民の日常生活や地域活動を豊かにする場、3点目に八尾市まちづくりに役立つ場、4点目として市民が気楽に立ち寄れる場、最後にすべての市民にとって利用しやすい場ということで図書館を含めた施設の基本コンセプトとしております。

次に、主な機能につきましては前回の図書館協議会でご説明しましたとおりに5つの機能を考えております。1つは八尾図書館、地域図書館を含めまして中央図書館的機能を有する図書館、2つ目に学習室機能、3つ目に地域の情報を提供する機能、4点目として郷土の情報を提供する機能、5つ目として青少年センターとしての機能と5つの機能を有する施設の整備を考えていけたらと思っております。

今後のスケジュールといたしましては、今年度は基本計画、基本設計を進めさせていただき、八尾商工会議所の建物解体設計を合わせてさせていただいております。来年度平成23年度におきましては、基本設計を基に実施設計を行い、同時に商工会議所建物の解体と文化財調査というスケジュールを考えております。次に24年度から具体的に建設工事に着手し、平成25年度に建設工事を竣工し、移転作業と開館を目指していきたいというスケジュールで現在進めさせていただいております。

また、八尾図書館整備に関するこれまでの具体的な状況についてですけれども、今回につきましては図書館を中心としてご説明させていただきます。

図書の配架、所蔵のスペックとして案に決めさせていただいておりますけれども、今現在配架図書として位置づけられている点数としましては、児童配架資料として約28,000点、一般配架資料として約35,000点、雑誌等として7,000点程置いております。閉架図書についても約120,000点前後はあるかと思っております。八尾図書館全体で約220,000点の蔵書を所蔵しております。今後の計画案とつきましては、配架図書資料としては約1.5倍を目指しております。

次に配架面積につきましても今現在児童配架面積としましては2Fですけれども210㎡となっております。一般配架面積としましては1Fに置いておりますけれども約180㎡となっております。全体として約400㎡ぐらいなんですけれども今後の整備の中では2倍程度以上を目標としていきたいと考えております。

次に、これまでに作った八尾図書館の案につきましては全体で3,000㎡の延べ床面積に対しまして中央図書館的機能を有する延べ床面積としては配架部分、バックゾーンの機能部分、それと共用部分を含めまして約2,000㎡を目途として考えております。

続いて、先日のご案内にチラシを付けておきましたワークショップですが、先だつての6日、9日

に開催し、八尾図書館についてこういった機能、こういったイメージを具体的にレイアウトをしていったらよいかといったご意見もいただいております。その中には面積的なご意見、ゆとりのある空間を作ってほしいというご意見、歩行者からも図書館にぶらっと入りやすいといった雰囲気を出して欲しい等といった積極的なご意見をいただいております。

また先日の社会教育委員会議の中でも新しい八尾図書館の整備についてのご意見をいただく場を設けてさせていただきまして、その際にも内装・外観両面の工夫であったりとか、ワークショップと同様に図書館に外から入り易いような雰囲気、エントランスについても工夫してほしいといったご意見をいただいている状況です。このように色々な場面場面でのご意見をいただきながら設計の具体的な案を固めていきたいと思っております。

続きまして資料2ページ目のところで第4地域図書館、旧市立病院の跡地での図書館整備につきましては、8月2日にそれを所管しております市議会の病院跡地活用調査特別委員会の中で第4地域図書館についてのご審議をいただいております。その中では各ゾーン、具体的には図書館周辺の道路整備についてのご報告と民間との土地の交換等についてのご報告をさせていただいております。

その中でも第4地域図書館を整備しますエリアといたしましては旧の市立病院跡地の北西角、25号線に面するエリアを想定しております。そこは街づくりゾーンという考え方で整備を進めております。その街づくりゾーンの中での絵は竜華コミュニティーセンターと地域図書館との一体整備を図る予定を進めており、今年度は基本計画案の策定を進めております。また来年度は基本設計、24年度には実施設計の段取りを進めまして、平成25年度での工事着手を目指しております。

今年度に置きましては現在コミュニティー運営協議会との協議を別途進めております。また11月から1月にかけて具体的にコミュニティーセンターのイメージと図書館のイメージといったことを周辺地域の住民の方々にご意見をいただくワークショップを2回程度開催する予定としております。詳細な内容等はまだ決まっておりません。またこのワークショップについての具体的な所管については人権文化ふれあい部の方で進めております。来年の3月には市立病院跡地の街づくりゾーンの基本計画を策定する予定としております。

第4地域図書館については具体的にまだ十分ご審議いただく段階には至っておりませんので、本日は八尾図書館の建替えについてのご意見をいただきたいと思いますと思っております。具体的なご意見をいただくためのサンプル案を作ってお示しさせていただいております。

この図案につきましては先だっのワークショップ、社会教育委員会議等の中でもご意見をいただくためのイメージ図としてお示しさせていただいております。本来ならば、平面図を出しまして1階のフロアなり2階のフロアにこういったものを配置するかという具体的な案をお示しさせていただいてご意見をいただくところだと考えておりますが、実際、全体的な1,200㎡の敷地の中でこういったものが建てられるかという調整作業で時間をとりまして、今現在は図書館としてこういった機能が、例えば装備室であったり見計らい室であったり、配架室とそれぞれのパーツについてこういった工夫が必要なのかという調整を設計事務所とやっております。具体的にどこの位置に落とし込むかといったことまでいたっておりません。そのため立面図としてのイメージで示しております。

図書館の配置のイメージとして考えておりますのは、実際に建物を3階建てのイメージで考えた場合に1階と2階に図書館機能を配置することによって他の青少年センター機能、学習室機能もしくはそれを上のフロアに持っていくという。またAのパターンで見ますと、1階の部分に青少年センター機能、学習室機能、郷土情報を1階に集約することによって2階3階に図書館機能を持ってきて合わせて1階2階3階にバックヤードも集約することによって地下には閉架書庫ということを考えてお

ります。図面については地域情報提供機能が横に出ているのですが具体的な建物の形を示しているものではないです。それぞれの機能をイメージ図として置いたものではないです。建築の際には駐車場、駐輪場を台数確保したいと考えておりますので、1階部分についてはある程度駐車場、駐輪場を設置する予定にしております。それを含めて1階部分のフロアの面積は2階、3階よりも狭くなることを得ないと考えております。できるだけ配架部分をとるという意味で2階3階に持っていき、1階に他の機能を集約するという考え方も1つの案としてあると考えております。

パターンBにつきましては、1階部分と2階に図書館を持ってきて他の機能を3階のフロアに持っていくという考え方でございます。それに伴ってバックヤードを1階2階3階に持っていき、下に閉架書庫を青少年センター、郷土情報コーナーを含めて持っていくという案が考えられます。

本日はそういったイメージを含めて図書館が1階2階の場合と、2階3階の場合とで市民の方に利用しやすい図書館になるためには、それぞれのフロアにこういった機能を落とし込んでいくべきなのか、メリットデメリットを含めまして様々なご意見を頂戴したいと考えております。今日はフロア位置について示せる段階にまでいたっておりませんが、他の図書館と見比べた中でこういった機能を落とし込んで行くべきであろうというご提案、ご意見をいただけたらと思っております。

【質疑応答】

井上会長

B案で地下の部分と3階部分に青少年センター機能を分けなければならない理由は。

南館長補佐

青少年センター機能といえども集会室であったり会議室であったりと、様々なスペースを持っている。どれだけの広さを持つかによって1階に集約できるのか、1階・3階に分けるのか考えられる。青少年センター機能としてどれだけの会議室・集会室を設けるかは別途、青少年部局が関係団体との協議の中で検討されていると聞いている。

井上会長

基本的に1・2・3階部分の有効面積はほぼ同じと考えていいのか。

南館長補佐

1階は駐車場・駐輪場が必要となるので若干狭くなるが、2・3階部分は同じように考えている。

坂上委員

A案、B案の面積は同じか？

南館長補佐

どちらも3,000㎡を目標としている。

森田委員

2階、3階が図書館ということでよいか。

南館長補佐

まだ確定ではないが、パターンAでは図書館が2階、3階の場合は他の機能をできるだけ1階に集約することになる。

森田委員

A案B案を比べたら図書館部分はどちらが大きいのか。

南館長補佐

パターンAのほうが大きくなる。

米澤委員

閉架書庫の面積が違うが所蔵点数については支障ないのか。

南館長補佐

書庫の棚を高くするなり、集密書架等の工夫をするなりすれば支障ない。

米澤委員

B案は一般の人が図書館に入りやすい。A案のメリットは図書館の面積が広く取れるということか。

南館長補佐

図書館スペースが広く取れるのがいいのか、一般の利用者が気軽に立ち寄れるというのがいいのかA案・B案それぞれメリット、デメリットがある。

西田委員

イメージ図に先入観があるが、ゆとりの空間が必要。志紀図書館に入ったら本を読みたい雰囲気がある。5つのイメージのどの部分を前に出すのか。他の図書館を見た見解を聞かせてほしい。

南館長補佐

茨木市中央図書館は貸出冊数が府下2位で、機能内容も充実していて参考になる。茨木市の図書館のレイアウトとかICタグとか、図書館に入りやすい雰囲気やゆったりと本を読める閲覧の空間を演出しているのか等様々なご意見を伺っている。サービス計画でどういった内容を打ち出すか、西宮市立図書館や河内長野市立図書館を見て、カウンター業務の工夫を見ていく中で参考にしたい。

西田委員

それを参考にしたのはA案かB案か。

南館長補佐

作業の過程でどういった配置にするのか、これから落とし込んでいく。

西田委員

先進市を参考にしながら市民の皆さんが入りやすい配置にするのがよい。

南館長補佐

1階の中で入りやすい雰囲気を出す。エントランスに入った時に何をするのか固めて行きたい。

吉川委員

都道府県立図書館の中で、大阪府立図書館の貸出数が比較的多いのはひとつの特徴、それについてはいろいろ議論がある。せっかくの図書館なのに1階に図書館がなければ残念と思う。地域情報、郷土情報はどういったものを考えているのか。

南館長補佐

八尾市の行政資料の情報提供や、郷土資料、河内木綿、文学関係の展示を考えている。

吉川委員

例えば、児童室で、ベビーカーでも気軽に立ち寄ることができるという感じが出たらよい。

井上会長

道路とフロアはフラットになるのか。

南館長補佐

その点は十分配慮する。

新居委員

駐車場・駐輪場を地下にすればいいのでは。

南館長補佐

地下にすれば長いスロープが必要となり、1階の面積がそれに取りられる。1階にエントランスがとりたい。

新居委員

それでは駐輪場は何台ぐらいのスペースが取れる予定でしょうか。

南館長補佐

50台くらいは取れる。

米澤委員

地域情報、郷土情報は、どこの部署が管理を担当するのか。

植田部長

様々な機能を包含するのでどういった管理にするか今後協議したい。

森田委員

学習室機能は図書館の情報を活かし学習の場とするのか。

南館長補佐

図書館機能を活かした形態で、限られた空間の中で有効活用をする。そういった機能を併せ持った空間にしたい。

森田委員

閲覧はどこですか。

南館長補佐

閲覧室は図書館の中で考えている。

森田委員

朝9時から午後7時まで利用する受験生の中へ一般の人が入っていけるのか。その管理はどうなるのか。

南館長補佐

管理については、青少年課と詰めている段階。

坂上委員

図書館の本を利用して学習するのはA案がよく、B案では不便。図書館機能の中に学習室が含まれないといけない。東大阪の府立図書館は両端に机があり調べものができる。図書館の中に学習室を含むべきではないか。

森田委員

たくさん本を3階から1階に降ろすのか。学習室機能をはっきりさせる。自習室と学習室を区別していない。図書館には自習室はいらない。

植田部長

皆様方の図書館に対する熱い気持ちは分かる。複合施設の中でどういった形がいいのか、学習室機能、自習室としての機能をもたせるとともに図書館の資料を使って勉強したいという方にも利用してもらえる部屋として学習室を設けさせていただく。図書館だけで使うというエリア的な分け方をするとせっかくの複合施設なのに排除することになってしまうことはどうなのか。学習室を図書館に持ってくるのは不便かもしれないが、諸室の有効的活用を考える必要がある。

戸部委員

機能図では共用部分も按分した上で図書館が2000㎡それ以外が1000㎡と限られている。各施設それぞれの広さに限界はあっても、場の利便性を選択した施設の基本コンセプトを活かすよう、

相乗的な機能充実を図ってほしい。学習室も、図書館と併設とすることから新しい機能が生まれてくる。自習に機能を限定するのではなく、仕事などの課題解決にも席が使用されることも考えるべきである。学習室機能として考えても、現在の学習を取り巻く状況からすれば IT の使用は前提であるので、IT 環境の整備はされるであろう。現在の機能図では閲覧室機能の外にあるが、電子図書の提供など併設した図書館の機能も活用できるキャレル(個人閲覧席)の部屋もイメージできるのではないか。青少年センターの団体の交流からも図書館機能への個人の立ち寄りが生まれてくる。1階であってもそのような機能により、基本コンセプトが活かされるよう考えたほうがよい。

移動図書館のバックゾーンも、機能連携による面積の有効活用を考える必要がある。

南館長補佐

移動図書館を新しいところに含めるかどうか、現行の、西館 B M 棟の有効活用も含めて考えていきたい。

井上委員

戸部さんが言われた自習室でないパターンも十分検討できる。学習室機能が有効に使えるように自習室でないというイメージで考えていただきたい。色々なところでそんな議論があります。事務局でより良い提案をお願いしたい。

米澤委員

地域情報・郷土情報について関係部署との協議についての経過報告をお願いしたい。

南館長補佐

関係部署との協議で役割分担を行う。

坂上委員

郷土情報機能を歴史民俗資料館に持ってくるというなら、歴史民俗資料館をもっと大きくしてもらわないと。郷土について分からないことがあれば図書館で調べればよい。河内音頭、気候や地形、八尾のことなら何でも分かる。

南館長補佐

郷土情報として取り扱いをしている資料は 6,200 点で、多数が配架されていない。新図書館では工夫してできるだけ配架していきたい。

森田委員

山本図書館も複合施設で、図書館に専用の部屋がない。新図書館には図書館独自の部屋をつくらせていただきたい。おはなしの部屋も確保していただきたい。

南館長補佐

おはなし室は必要と考えている。ボランティア団体さんがイベント等される部屋を図書館専用で設けてほしいということだが、限られた空間の中で効率的に施設配置の利用形態を考えていきたい。青少年センター機能が有する会議室・集会室を使用できる仕組みづくりをしていきたい。

森田委員

ぜひお願いしたい。

米澤委員

志紀図書館ではいつもご協力を得て、感謝している。新図書館もそういう関係が築けるようお願いしたい。

井上会長

たたき台になる平面図等が示された時点で、皆様のご意見を頂戴したい。

続いて第2次サービス計画について事務局から説明をいただき、論議をお願いしたい。

【第2次図書館サービス計画素案について】

南館長補佐

第2次図書館サービス計画について、説明いたします。資料2をご覧ください。
現在作業をすすめております素案の概要版をお示ししております。また、資料2-1で第1次図書館サービス計画の達成状況をお示ししております。では素案の概要について、説明させていただきます。資料2をご覧ください。

全体の構成は大きくは4章構成を考えております。

1章「計画の概要」策定の趣旨といたしまして、図書館利用者ニーズに基づいた更なる図書館サービスの充実を図り、市民に役立つ図書館、市民とともに歩む図書館をめざして、今後の八尾市立図書館のあり方やサービス充実方策を定めた計画を策定するとしております。今回の計画につきましては、平成23年度を初年度とし、平成32年度を目標とした10ヵ年計画としておりますが、必要に応じて計画内容を見直すことも視野に含め進めております。

2章「現状と課題」では公立図書館を取巻く動向として、社会環境の変化、国等の動向を記載しております。また八尾市立図書館の沿革、図書館サービスの状況、昨年実施した利用者等の意識調査、八尾市立図書館が抱える課題を記載しております。

これら現状と課題を踏まえ、3章で「基本構想」をお示ししております。基本理念といたしましては、『市民とともに歩む図書館』を考えております。基本目標として4点、地域の情報拠点となる図書館をめざして、市民生活を豊かにする図書館をめざして、すべての市民が利用しやすい図書館をめざして、市民に開かれた図書館をめざしてと大きく4つの体系を考えております。図書館体制として、中央図書館的機能を有する八尾図書館の建替え、市南西部への新たな地域図書館の整備、山本・志紀図書館の地域図書館としての充実、移動図書館の充実を図ります。

4章「施策の展開」では4つの基本目標を掲げております。目標1では地域の情報拠点となる図書館をめざしてとして、ハイブリッド化の推進、貸出・予約サービスの充実、レファレンスサービスの充実と利用促進を、目標2では市民生活を豊かにする図書館をめざしてとして、市民生活を支える情報提供の充実、多様な学習機会の提供、市民の活動を広める場づくり、地域自治形成の支援を、目標3ではすべての市民が利用しやすい図書館をめざしてとして、全市的な図書館サービスの展開、利用者に応じた図書館サービスの推進、図書館情報の分かりやすい発信と提供を、目標4では市民に開かれた図書館をめざしてとして、運営体制の整備・充実、専門職員の資質・技術の向上、運営への市民参加の推進、図書館サービス等の評価の推進を記載しております。

最後に計画の推進体制・進行管理として、図書館協議会による図書館サービス内容への意見、図書館の運営及びサービス内容を利用者等が評価する仕組みづくり、図書館サービスに関する様々な指標を用いた絶対評価・相対評価の実施を示させていただいております。

今後のスケジュールとして今年度中にはパブリックコメントを実施し、3月に計画確定と考えております。本日は計画について、様々なご意見をいただきパブリックコメント前の修正作業に反映させていきたい。ご審議よろしく申し上げます。

井上会長

サービス計画について、ご意見ご質問があればお願いします。

【質疑応答】

米澤委員

第4章の施策の展開でもっとくわしく目標値等設定するのか。

南館長補佐

数値目標・指標については検討している。他の図書館との比較検証を行う指標、計画独自の評価を行う指標と二つの観点での指標を検討し、計画に盛り込んでいきたい。

米澤委員

第1次図書館サービス計画の計画内容に比べて、具体性に乏しい気がするがどうか。

南館長補佐

現時点では体系の項目を出しております。表現の文言については調整中です。計画の中身については12月頃に予定しているパブリックコメントまでには協議会の委員さんにはお示ししたい。

森田委員

資料費が減少しているが利用者を増やすためにもできるだけ新しい資料を購入していただきたい。職員研修は司書の研修なのか。

南館長補佐

専門的な知識なり技能を修得するための研修については、大阪府や各団体が実施する研修に参加するのが効率的であるため、できるだけ参加してもらうようにしている。

森田委員

行政職員のなかに司書は何名いるのか。

南館長補佐

正職員17名中2名である。

森田委員

山本図書館・志紀図書館にいる司書資格のない職員について、図書館業務を遂行するための研修等はあるのか。

南館長補佐

行政職に司書業務の研修はないが、大阪府や各団体が実施する研修の中で業務に関係する研修等については行政職も参加する。

森田委員

図書館業務は特殊であり、業務内容を知らない行政職員が日々の図書館業務をうまくこなせるように司書との交流や職場での研修等実施したら市民サービスの向上につながるのではないかと。

南館長補佐

職場内で図書館の業務内容についてアドバイスを受けながら覚えていく。

植田部長

図書館職員の研修等も含めて管理・育成については館長が責任を持って対応している。

井上会長

始業時に全員でミーティングを行い必要な事項を伝達する、月末の休館日に全体会議・研修を行っている。

大谷館長

利用者に対するサービスの低下を招かないため、職員一同が共通の目的を持って利用者にサービス

を提供する。サービスの度合いを高めるため自己研鑽・職場研修が大事である。大阪府や各団体が実施する研修の中で業務に関係する研修等については行政職も参加させる。

西田委員

図書館独自の歳入確保等は検討しているのか。

植田部長

施設の命名権だけを企業にお願いするのではなく、例えばブックカバー等の消耗品に企業名を入れるという社会貢献的な協賛を八尾市にお願いできないかという取組みを進めている。そのことで消耗品の予算を資料費にまわせる。

西田委員

貸出カードに広告を入れるなどサービスをよりよく提供するために財政難の中でどのようにしていくのか、大変重要なことである。学校図書館との連携について、児童・生徒が本に親しむことが図書館の貸出冊数にもつながる。学校図書館の貸出冊数は増加しているのか。

植田部長

把握していない。学校図書館との連携については、今後のサービス計画に記載していくべく検討している。現時点では学校図書館を市民の皆さんに利用していただけないが、今後は学校図書館を市民の方も利用できるシステムを第2次図書館サービス計画に記載していく必要があるのではないかと。

米澤委員

学校で図書利用を学ぶことで公共図書館の貸出率が増える。限られた予算のなかで持っている資料がうまくまわるようなシステムをサービス計画のなかに記載してもらいたい。

森田委員

図書館の整備計画について、配架・所蔵等スペックの計画案と現行で比較できる具体的な数値を提示してもらいたい。

南館長補佐

前回協議会の資料「八尾の図書館2009」等でお示ししている。

井上会長

面積に対する配架資料数は、基本100冊/m²。基本設計はいつ図にされるか。

南館長補佐

パブリックコメント前後になる。

【閉会】

井上会長

それでは、次回の協議会はパブリックコメントの前にしましょうか、後にしましょうか。

委員全員

後のほうが良いのでは。

植田部長

年が明けましたら議会もごさいますので議会が終わりましたら、進捗状況等もお示しできると思います。

米田館長補佐

では、次回協議会の開催は1月以降ということをお願いします。

本日はお忙しい中、ご出席ありがとうございました。